

伊奈町新庁舎建設特別委員会

令和4年2月25日（金曜日）

埼玉県伊奈町議会

1. 招集年月日

令和4年2月25日(金)

2. 場所

全員協議会室

3. 開会・閉会等時刻

◎開会 午後 4時12分

◎閉会 午後 5時10分

4. 出席委員名

委員長 栗原恵子

副委員長 五味雅美

委員 武藤倫雄、高橋まゆみ、山野智彦、戸張光枝、佐藤弘一、青木久男

議長 永末厚二

5. 欠席委員氏名

なし

6. 職務のため出席した事務局職員の職・氏名

事務局長 嘉無木栄 局長補佐 小坂真由美

7. 説明のため出席した者の職・氏名

企画総務統括監 藤倉修一、都市建設統括監 安田昌利、教育次長 石田勝夫、企画課長 久木正、企画課主幹 野本陽、総務課長 増田喜一

開会 午後4時12分

○栗原恵子委員長 本会議終了後で、お疲れのところと思いますがよろしくお願ひします。

ただいまから新庁舎建設特別委員会を開会いたします。

新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため傍聴は許可しないことしたいと思ひます。ご異議ございませぬか。

〔「異議なし」という人あり〕

○栗原恵子委員長 異議なしと認め、傍聴の申し出があつた場合は、許可しないこととします。

それでは、議事に入ります。

(1) 進捗状況について執行部よりご説明願ひます。

総務課長。

○増田喜一総務課長 今、送りました資料をご覧いただきたいと思ひます。前回もご説明いたしましたけれども、今年度、土地履歴調査、敷地測量調査、アスベスト調査、地盤・地質調査の4つの予算を頂戴しました。前回ご説明したとおり1番の黄色の土地履歴調査・土壤汚染調査につきましては第1段階で県の事務局のご了解をいただきまして、完了したとご報告したところでございます。

今回は敷地測量調査につきまして、前回は未発注でございました。今回発注ができましたので、その経緯につきましてまずご説明させていただきます。

1枚めくっていただき、次のページに移っていただきたいと思ひます。

2、敷地測量調査でございますけれども、役場敷地の測量調査の業務委託をいたしました。指名競争入札の結果、昭和株式会社埼玉支社が落札金額340万円で落札し、落札率は90.42%でございました。令和4年3月25日が履行期間でございます。その内容でございますけれども、この役場の敷地11,048平米ほどございますが、その敷地の測量、また周辺道路の接道の測量、ご存知のとおり高低差がございますので地盤高の測量及び40年前、50年前の建築の庁舎でございますので、例えば古い浄化槽ですとか排水管ですとか、そういったものが埋設されている可能性がありますので、その部分の埋設物の調査を今回、業者にお願ひさせていただいたものでございます。

続けて3番目のアスベスト調査につきましてご報告させていただきます。資料のとおり、エヌエス環境株式会社東京支社が落札されました。今回はアスベストが0.1%以上含有しているか、そういった建材を使っているかどうかというところで、将来建物を解体するときに、そういったものがあると対策をきちんと取らなければなりませんので、調査を今回行っ

たものでございます。設計の段階では、役場庁舎で117か所、旧新都市建設事務所の42か所の計159か所をサンプリングして調査をする見込みでございましたが、実際には資格をお持ちの調査員が目視をしながら調査箇所を確認しまして、役場庁舎85か所、旧新都市建設事務所の11か所、合計96か所と数は少なくなりました。その関係で、当初の契約より数量が減りましたので、変更契約をさせていただいております。

1 ページめくっていただきまして、結果が出ました。まず、右側の図面がちいさいので拡大していただければ助かりますけれども、絵の部分は役場の庁舎を上から見たところでございます。右下が旧新都市建設事務所でございます。その絵の横に、ちょっと色が付いてサンプルした箇所と数量が入ってますけれども、役場の北庁舎とか東庁舎とかで点数、例えばエレベータですね、青っぽいところ、東庁舎の下側の所、エレベータの関係、それと旧都市建設事務所などです。先ほど、ご説明したとおり合計96か所サンプリングをしまして、調査をいたしました。左側の結果のところを見ていただきたいのですけれども、96か所中、0.1%以上のアスベストの不検出が53か所、検出ありが43か所ございました。その下にレベル1、レベル2、レベル3とありますけれども、レベル3が一番軽いというんですか、軽い状況でございます。その43検体のうち一番軽いレベル3に該当する物が35検体。主なものは、石綿を含んでいるビニールの床のタイルとかそういったもの、現在はタイルで使用しているので問題ないのですが、粉砕しますと中に石綿が入っているので、現在は問題ございませんが、解体するときには一定の対応が必要なものでございます。レベル2というのは、もうちょっと重いものがございます。これが8か所ございました。断熱材等でございます。先ほど、図面がございまして下にちょっと小さい写真が4コマ載っているんですけど、4つのうちの左上のところの写真は東庁舎のエレベータがございまして、エレベータの横に階段があるんですけど、階段の裏側に機械室があります。エレベータの機械が入っている部屋でございます。そちらの吹き付け材にレベル2に該当する物がございました。その右側の写真に排水パイプがございまして、白く保温材でパイプを覆っているんですけども、この中の物もレベル2に該当するアスベストが含有する物だということが分かりました。いずれも通常、住民の方が入る部屋でございませぬし、単に保温材につきましては、ビニールで巻かれていますので、飛散する物ではないのですが、これもやはり解体のときに粉砕等しますと飛散の可能性がありますので、工事の際は対応が必要になるというものが分かる場所が分かりました。なお、レベル1に該当する物は、今回は検出されませんでしたので、問題はございませんが、しかしながら、レベル2と3のものがありましたので、解体工事をする際は、工事会社とよく打

ち合わせをいたしまして、例えばレベル3のものであれば水を撒くとか飛散防止をすればいいものと、レベル2のものであれば吸引するようなものを置きながら粉碎するとかですね、そういう措置を講ずればいいと伺っておりますので、実際に解体する際は、そういった対応を取りたいと思います。アスベストの関係は簡単ですが、以上でございます。

次、もう1枚めくっていただきまして、4つ目の地盤・地質調査でございます。株式会社アサノ大成基礎エンジニアリング北関東事務所が落札されまして、ボーリング調査を行いました。当初の設計では、90メートル掘る穴が1つ、53メートルを掘る穴が4つ、別個、予備の穴をもう1つ掘って、6か所掘るということでございまして、設計は48メートルプラス5メートルということで53メートルとご説明させていただいたところでございます。実際にボーリング調査を1から5まで行ったところでございまして、ボーリングナンバー1につきましては、設計どおり90メートル掘りました。55メートル付近から支持層が確認できましたので、設計どおりの深さまで掘るということで終わりました。しかしながら、ボーリング2、3、4、5につきましては、当初は53メートルまで掘れば、支持層、固い層にぶつかると思込んでおりましたけども、実際には少しばらつきがございますが、60メートル少し掘ったところまで行って、5メートル以上の支持層が確認できたということでございますので、当初の予定よりも深く掘ることになりましたので、こちらにつきましては、少し増額の変更契約をさせていただきまして、対応させていただいておるところでございます。

1枚めくっていただきますと、断面図が出てまいります。カラーのものでございます。ちょっと見にくくて恐縮なんですけど、図面の右上に役場敷地がございます。この台形の形が役場の敷地を上から見たところでございます。ボーリング調査をやったところは今、庁舎が建っている南側、駐車場として利用させていただいているところが建設予定地でございますので、その場所について業者と打ち合わせをしながら、本来であればもう少し近いところでやりたい箇所もあったんですが、来庁者の駐車スペースに影響したり、ATMに当たってしまったということがございましたので、役場業務に影響のないところで、かつ今回の建築にあたって有効なところというところで場所を選定しまして、ボーリングを行いました。今、上から見ていただいている、図面の赤いポチがありますが、それが実際に穴を開けたところでございます。真ん中のナンバー1というところが一番深く90メートルまでボーリングした箇所でございます。それ以外の4か所につきましては60メートル程度掘ったものでございます。ナンバー3だけはナンバー2と被るものですから、その色がたくさん付いている地層の断面図のところにナンバー3がないんですけれども、左から奥のナンバー2の状況、左か

ら2番目が90メートルまで掘ったナンバー1の状況、ナンバー4と5というのを断面で見た図がそのカラフルな図面でございます。先ほど申し上げましたとおり、それぞれ1番については90メートル2、4、5については60メートルほど掘ったところでございます。この色の付いた地層の見方なんですけども、左側のほうに数字が入っております、これが深さとか高なんですけども、ちょっと分かりにくいんですが、0.00というのがあります、ここが元々、昔に地盤だったところ、そこに堆積物が堆積してまして、現在の関東平野ができておりますので、伊奈町付近ですと、20メートルぐらいの標高があるということなので20メートルから始まっておりまして、ゼロになってゼロから下が元々あった地盤から岩盤というところでございます、数値が入っておりますので、見方が分かりにくいんですけども、そういう数字になっておりますので、標高20メートル弱程度が伊奈町の地面のある高さだということをご理解いただければと思います。例えば、一番左のナンバー2を見ていただきますと黒いポチがありますが、これが地盤の固さをあらわしておりまして、ゼロのほうが柔らかい、右のほうにいった50とか60とか、非常に見にくくて恐縮なんですけども、数値が入っているんですが、黒いポチが右側にいけばいくほど、そのところは固いものがあるというふうにご理解いただければと思います。それで、ずっと掘っていくんですけども、標高、現在のところから55メートルほど掘ると赤い線がありますが、そこを大体過ぎますと、黒いポチが全部右側のほうにいきまして、今回、役場のような大きな建造物を建てる場合はこのN値と呼んでいる、固さをN値と呼んでいるんですが、値が50以上あることが基準となっておりますので、標高のところから伊奈町役場の付近ですと、おおむね55メートルほど掘るとN値50を超える支持層があるということが今回確認できまして、箇所で若干異なりますけども、おおむね55メートルを超えれば固い地盤があるということが今回のボーリング調査で確認ができました。

また、ナンバー1の90メートル掘ったところがございますけども、そこも同様におおむね55メートル掘れば固い支持層がございましたので、問題ないのが1点です。ここにつきましては、90メートルまで掘ったところから、模擬地震を起こして、地震でP波とかS波とか、振動の速さを表す波形がありますけども、あれをこう起こしてみても、どんな伝わり方をするんだ、それは地盤の柔らかさというよりは岩盤だと密度が固いものだからですので、伝わり方が早いとか遅いとかあるようなんですけども、伊奈町のところにつきましてはですね、台地であるということで、地盤は都内ですとか川口市ですとかの県南に比べると、比較的良好的な状況になっていると伺っています。もう少し細かく言いますと、伊奈町は大宮台地というところに位置するそうでございますので、それよりも南側の都内のような柔らかいところに

比べると比較的良好的な地盤といいですか、固いものであるということが確認できたということの報告を受けています。

早口で恐縮ですが、以上で今年度の予算をいただいて実施しました調査業務の業務委託の進捗状況を報告いたします。

以上でございます。

○栗原恵子委員長 ただいまのご報告について、ご質問等はございませんか。

武藤委員。

○武藤倫雄委員 3つほど、簡単をお願いします。

最初の測量調査で、地下埋設物調査が行われるとのことなんですが、この方法というのがどういった形でやるのか分かりますか。

○栗原恵子委員長 総務課長。

○増田喜一総務課長 役場を建設したときの図面がありますので、そちらを見ていただいて確認いただくというといったことを今、予定してございます。

○栗原恵子委員長 武藤委員。

○武藤倫雄委員 では、図面のみで、実際に磁石あてるとか音響あてるとかそういったことはする予定はないということですかね。

○栗原恵子委員長 総務課長。

○増田喜一総務課長 基本的にはそういったものを使う予定はないんですが、実際には、事実として40年、50年前の建物で図面にないところに配管があったり排水管があったりというのはありまして、アスファルトが切れた跡があるというのは、工事で掘削した跡があり埋設物があるという例があったりしますので、そういったところは現況を確認しながら調査をするのと伺っております。

○栗原恵子委員長 武藤委員。

○武藤倫雄委員 次、アスベストのほうなんですけどもレベル2が出たところは、吸引でということだったんですが、囲い込み、建物自体の囲い込み、それから当該箇所の詳細な囲い込みは不要という考えでいいんですか。

○栗原恵子委員長 総務課長。

○増田喜一総務課長 実際、解体工事をする際はその配管がある部屋、あるいはエレベータの機械室につきましては、お話のとおり囲い込みをしまして、その横にクリーニングルーム等で、アスベストを飛散させないような部屋を設ける、工事の際は吸引するなど最大限の配慮

をして解体すると伺っています。

○栗原恵子委員長 武藤委員。

○武藤倫雄委員 最後に、支持層が55メートルオーバー、55メートル前後ということころだったんですが、この結果でくい打ちというか、その辺の算定がこの55メートルの深さ以上が基準になってくるといふ捉え方でいいのでしょうか。

○栗原恵子委員長 総務課長。

○増田喜一総務課長 基本的にはそのために今回調査を行いました。ただ、まだ耐震にするのか、免震にするのか、そういったものが決まっておきませんので、その辺のこの状況を見た上で、ここの建物の最も良好な構造にするということになるかと思ひます。

○武藤倫雄委員 ありがとうございます。

○栗原恵子委員長 ほかにありますか。

青木委員。

○青木久男委員 アスベストについてお伺ひします。東庁舎のエレベータのところレベル2、レベル3が検出されたこと、8検体、35検体がすべてその場所になるのでしょうか。

○栗原恵子委員長 総務課長。

○増田喜一総務課長 8か所レベル2の箇所がございました。先ほどご説明しましたとおり、エレベータ機械室で3か所、エレベータの箱が動く筒の部分というのでしょうか、そこで1か所、4階ですから屋上なんですけど、そこの外壁で1か所、旧都市建設事務所の外構部、外ですね、外の吹き付けで1か所、先ほど説明しました消火栓の排水管、写真の右側のほうですね。これの保温材が1階の消火栓と3階の消火栓で2か所の合計8か所でございます。

○栗原恵子委員長 青木委員。

○青木久男委員 レベル3の。

○栗原恵子委員長 総務課長。

○増田喜一総務課長 レベル3は35か所ありまして、例えば、1階の車庫の壁のスレート板の中、1階のポンプ室のシール材の中、電話交換室の中の石膏ボードの中、廊下の石膏ボードの中、先ほどご説明しました、ピータイルというんですかね。床に張ってあるタイル材の中にあるというように35か所全部申し上げるのはあれなんですけど。主なものとしてはそのようなものところで検出されたと報告を受けています。

○栗原恵子委員長 青木委員。

○青木久男委員 あちこちにたくさんあったということですね。まあそれでも一番軽いんで、

ここの5ページの下にエレベータのところと保温材は分かりますけど、外壁と成形板のところはさっき言ったエレベータの箱のところなんですか。

○栗原恵子委員長 総務課長。

○増田喜一総務課長 例えばこの成形板につきましては、レベル2の例でございます。外壁につきましても、同様でございます。

○栗原恵子委員長 青木委員。

○青木久男委員 これ全部、レベル2ということですね。全部、この4つは。

○栗原恵子委員長 総務課長。

○増田喜一総務課長 この4つの写真がございますけども、建材の採取状況の例でございます、上の2つがレベル2の場所でございます、下の2つがレベル3の場所だと思います。以上でございます。

○栗原恵子委員長 青木委員。

○青木久男委員 そうすると、検出されなかったところの写真ですね、下の2つはね。

○栗原恵子委員長 総務課長。

○増田喜一総務課長 4つの写真がございますが、上段は少し重いレベル2があった箇所の写真でございます、下段の2枚はレベル3の建材の写真でございます。

○栗原恵子委員長 青木委員。

○青木久男委員 レベル3だったでしたね。そうしますと、もう最後になりますけども、調査対象建材が96トータルであるんですけど、その96のうち検出されたのはレベル2と3ですけど、合計で43か所あったという理解でよろしいんですか。半分近くは。お願いします。

○栗原恵子委員長 総務課長。

○増田喜一総務課長 そのとおりでございます、96か所調査をいたしまして、お話のとおりレベル3が35か所、レベル2が8か所の、あったかなかったと言え、あったところが43か所、不検出のところが53か所ございました。

以上でございます。

○栗原恵子委員長 青木委員。

○青木久男委員 了解しました。

○栗原恵子委員長 ほかに質疑ありますか。

〔発言する人なし〕

○栗原恵子委員長 ほかに発言がございませんので、(1)進捗状況についてはよろしいでし

ようか。

次に、(2)その他に移ります。執行部から何かございますか。

総務課長。

○増田喜一総務課長 その他で大きく2点、ご報告させていただきます。

今のボーリング調査の横の次のページ、9ページをご覧いただきたいと思います。役場の用地につきまして、ご報告させていただきたいと思います。

もう1枚めくっていただきますと、役場敷地11,048平米を上から見た台形の図面がございますが、左側の少し色を付けさせていただいたところが借地でございました。前回の委員会のときに3人の地権者の方がいらっしゃるんですけども、2人の方はご協力いただいて、用地購入ができましたとご報告させていただきましたけども、今回進展がございましたのでご報告させていただきます。

残りの一人につきましても、公共事業にご了解をいただけて、本当にありがたいことにご了解をいただきまして、この度契約をさせていただき、所有権移転まで終わりましたので、当初今年度予定しておりました2,570平米の借地すべて購入することができましたので、この場を借りてご報告させていただきます。1点目は以上でございます。

2点目が、その横の11ページとして令和4年度のスケジュールを参考までに載せさせていただいております。予算も少しかかりますが、お話をさせていただきますと、来年度の予算を約1億3,600万円、委託料で計上させていただいております。主なものはここに書いてあります、新庁舎の基本設計の予算でございます。

まず、メインの基本設計の業務につきましては、簡単に説明させていただきますと、年度初めに業者選定をさせていただきまして、その後、ぜひ町民の方に喜んでいただきたい庁舎と考えておりますので、町民の方の声を聞きたいので、たぶんワークショップとかそういうことを感染症には十分配慮していきますけど、そういうことで皆さんの声を改めて伺いまして、もちろん議会の皆様にもいろいろご意見も頂戴しまして、そんなことをしながら各フロアとか各階のレイアウト、ゾーニングなどを詰めまして、その後そういったものを集約して詰めまして、図面を作ってまいりたいと思います。

年度末には、おおむねの基本設計図面ができますと、車の見積ではないのですが、どういった仕様でどういったものを使うんだということで明確になってきますので、概算工事費も算出できるのかと思っておりますので、来年度のおおまかなスケジュールとしましては、資料にお示ししましたとおりそのようなイメージを進めていきたいと考えています。

しかしながら、議会質問でもございましたが、これから設計業務に来年度入っていくんですが、町に技術者というのが、技師の職員が多くいけませんので、2級建築士を持っている職員はおるんですけど、1級建築士を持っている職員はいないとかですね。このような大きな建物の建築にかかわった職員も少ないとかですね、なかなか人的に、議会でも一般質問でも頂きましたけど、体制としてなかなか十分ではないところも正直ございます。そこで、いろいろ調べた結果、最近国土交通省で推奨している手法なんですけどCM、コンストラクションマネジメントと言うそうなんですけど、要は伊奈町などの小さな自治体などでは、技術者が少ない各地方公共団体でもインフラの建て替えが迫ってきているということがあり、このような背景があるなかで国土交通省のほうでCM、コンストラクションマネジメント、そういった手法を推奨しておりますので、そこを少し今勉強させていただいておりまして、先ほど言いましたこの資料にあります、この基本設計の業務を行っていくんですけども、簡単に言いますとアドバイザーをお願いする。発注者と例えば設計者やゼネコンの中間に立って、どちらかといえば発注者を支援するというアドバイザーのような方に付いていただいて、より伊奈町が目指している建物、まして図書館だとか複合化しながら、町民の方が願うような新庁舎としてまいりたいと考えていますので、そういった予算も入れさせていただいておりまして、そんな取組をしながら、いろんな資材の高騰とか人件費の高騰も新聞報道等でされておりますので、よりコストも見ながら、より予算を抑えながらいいものを作るには限られた職員では難しいということがございますので、来年度予算の中にもコンストラクションマネジメント業務委託の経費も入れております。

併せて、並行してやる業務として執務環境の調査も予算の中に入れてさせていただいております。これは例えば、庁舎の執務環境の中にどれだけ机があって、その中にどれだけ書類があるのか、そういったものを洗い出して、スムーズに新庁舎に入るように、レイアウトも効率的にできるようにということで、執務環境調査の予算も頂戴しております。

なお、この執務環境調査については、先日桶川市に勉強に行つてまいりました。担当された方にお話を伺いましたところ、ぜひやったほうがいいですよというような助言もいただきましたので、今回予算を財政担当にお願いして、付けていただいたところでございます。簡単ですが、2点目は以上でございます。

○栗原恵子委員長 ただいま2点ほど報告がございましたが、何かご質問等はございますか。

山野委員。

○山野智彦委員 令和4年度の最終のアウトプットが基本設計書の完了ということですが、要

するに図面が全部出来上がるという理解でよろしいのでしょうか。その基本設計の説明をもう一度お願いします。

○栗原恵子委員長 総務課長。

○増田喜一総務課長 今は、この基本構想、基本設計は図面というのはなくて、イメージとい
いますか、こんな機能がほしいというのが書かれているものなんですけど、お話のとおり、
来年度着手する基本設計につきましては、建物の構造、配置、デザイン、また、必要な機能、
設備そういったものを明確にしていきますので、完成予想図、ピッタリ、完全ではないんで
すが、そういったものも出来上がりまして、それぞれのフロアはどういったレイアウトにな
るのか、そういったものが来年度の基本設計で整備される予定でございます。

○栗原恵子委員長 山野委員。

○山野智彦委員 ビルは分からないんですけど、住宅では間取り図ができるとうイメージで、
だけど素材とか材質とか色とかは後でまた変えられるというような理解をしているんですけ
ど、懸念するのは年度末にポンとできてきたもので、走らざるを得なくなるのではないのか、
それまでにワークショップやヒヤリングやアドバイザーからのアドバイスも受けるんですけ
ども、最終的に3月に落ちてきたものは、もう変えられないのではないのかなと思うんです
けども、その辺のコントロールというか可変性というのはどういうふうになりますか。

○栗原恵子委員長 企画総務統括監。

○藤倉修一企画総務統括監 基本的にはですね、この特別委員会に機会ごとに諮りながら、一
緒になって進めていきたい、最後にポンと出すような話ではなくて、逐一報告をさせていた
だきながら進めていきたいと考えております。

○栗原恵子委員長 山野委員。

○山野智彦委員 ぜひ、よろしく願いいたします。それと同時に、桶川市に行かれたという
ことなのでなにか、教訓みたいなもの、何かお聴きになったことはありませんか。

○栗原恵子委員長 総務課長。

○増田喜一総務課長 個人的な受け止めになってしまうので、それが必ず正しい受け止めなの
か自信がないのですが、やはりコスト縮減に苦労したというところで、天井高をずいぶん抑え
られたとお聞きしております。ですので、事務室も天井が張ってなかったというのもあるん
ですけど、そもそもの階ごとの高さが通常よりも低い設計になっているのは感じました。あ
と、中間免震といって免震構造なんですけども、基礎部分は耐震構造で基礎と1階部分の間
に免震があり、実際にその場所も開けて見せてもらいましたけども、これは非常に工夫と

してはコストカットにもつながっていると伺いましたので、参考になったと思っております。挙げればきりがありませんけど、やはりあと、フロアを伊奈町は各課をロッカーで仕切って、何課、何課としているんですけども、例えば10人座れる列がありますと、手前のほうはA課なんだけど、奥のほうはB課で、そういうふうに組織改正に柔軟に対応できるレイアウトを取り入れられているというのが伺えまして、これは非常に、基本構想にも書いてあるんですけども、実際に見まして非常に人事配置、人を増やす減らすというのが、やりやすいやり方かなと思ひまして、参考になりました。

簡単ですが以上でございます。

○栗原恵子委員長 山野委員。

○山野智彦委員 桶川市は私だけじゃなくて、複数の人が動線の問題とかいろいろ指摘をしたりしていますので、そちらを教訓にいいものができるようにしていただきたいと思ひます。

○栗原恵子委員長 ほかにご質問等ございませんか。

高橋委員。

○高橋まゆみ委員 ワークショップですけど、これはどういった形で募集をするのでしょうか。

○栗原恵子委員長 総務課長。

○増田喜一総務課長 まず、住民の方々の生の声を聞いて、それをぜひ新しい庁舎の設計に生かしたいという趣旨でワークショップを考えています。ただ、具体的にそれをどう募集するとか、何人ぐらいでどうするとかはまだ決めておりません。この後、実際にやられた、埼玉県内でも庁舎を建てられて、それにあってワークショップとかをやられた自治体がありますので、少し教えていただけてより良い形で取り組んでいきたいと考えてございます。

○栗原恵子委員長 高橋委員。

○高橋まゆみ委員 町でも、今までもワークショップみたいな形のものって開催していて、庁舎建設ではなくて、町民会議とかそういったものを夜やったりと、いうのがあると思うんですけども、だいたい何かの団体に声を掛けたりだとか、決まった方が集まっているような印象があるんですね。自分もそうだからなんですけども、行くと同じような顔ぶれの方がいろんな会議に出ているということを感じるの、できましたら平日とかではなくて、いろんな方が集まりやすいように、土曜日とか日曜日とかの例えば夕方とか、いろんな世代の方が出るといったスタイルを取ったらいいのではないのかと思ひます。

○栗原恵子委員長 企画総務統括監。

○藤倉修一企画総務統括監 ワークショップの関係ですけども、町民討議会、JCとやってい

るところではその形式を取ってやらせていただいております。そちらにつきましては、無作為抽出で町民の方に出ささせていただいて、希望された方を集める、世代とかそういうのに配慮した形のワークショップを行っております。また、ワークショップの関係の前に、ワークショップの実施がまだ後になってしまいそうな工程になっておりますので、今コロナで少し延びているんですが、町長タウンミーティングを開きまして、庁舎に対する町民の方の意見をまず聞いていこうと考えております。そういった形で、町民の方が町長と庁舎についての意見を交わすというような形を来年度早々に作りたいと考えております。

以上です。

○栗原恵子委員長 高橋委員。

○高橋まゆみ委員 コロナということでもあるし、前回の12月議会のときにも町長そういうことを少しおっしゃっていたなというのを記憶してます。そうなると思います同じような方が集まって、出る意見というのも世代を限定されてしまう意見が出てしまう気がするんですね。また、募集についても無作為って今おっしゃいましたけども、例えば広報いとかを使って、明るくみんな一緒に参加しませんかというような、そういう雰囲気やるといいかなと思うんですけど、何しろ時間が、期間がとても短いと思うんですね。この予定だと、本来だと最初は令和5年度に施工予定という、それが1年延びたんですね。確か、6年度から施工というか、だったと思うんですね。それにしても、期間が短いので、ワークショップをやったところで、もうさっきおっしゃった3月に完了という状態だと、あまりにもせわしないので、もしも募集をするんだったらもう、早めにしたほうがいいと思うんです。コロナだから、無理だからタウンミーティングでいいという考えではなくて、どうしたらそういう、いろんな意見を集められるのかというのをこれも考えていったらいいのではないのかと思いました。

○栗原恵子委員長 企画総務統括監。

○藤倉修一企画総務統括監 すみません。ちょっとお話を整理させていただきたいと思います。

先ほどの手法につきましては、J Cと行った町民討議会との形式がそういった無作為抽出というやり方とさせていただいております。これは、ホームページにも載せさせていただいているんですけど、報告書も付けて出ささせていただいております。この形が、無作為抽出でやらせていただいたということで、そういう説明をさせていただいたところでございます。

今回のものが、どういう手法でやるかというのはこれからになりますので、ご説明したのは、あくまで今までやっていた、ほかにやっているかということで、それに対する答えというふうを受け取っていただければと思います。

それから、ワークショップのほうですが、ワークショップはワークショップでやらせていただいて、その前にタウンミーティングもやらせていただきたいという、そういうような形でございます。できるだけそういった町民の方からの声を聞ける機会を増やしたいという趣旨でございます。一応、タウンミーティングにつきましても、直接の対面のほかにWEB形式でも募集して、両方で進めていきたいと今のところ考えておるところでございます。

以上です。

○栗原恵子委員長 高橋委員。

○高橋まゆみ委員 最後に1つだけなんですけども、駐車場に関して足りないんじゃないかという話を以前からさせていただいているんですけど、その立体駐車場というのはその後、検討としてはどうなっているのでしょうか。

○栗原恵子委員長 総務課長。

○増田喜一総務課長 駐車場の立体についてはご意見頂戴しましたので、この基本計画をまとめるにあたって少し調べさせていただき、見積とまではいかないんですけど、どのくらいコストがかかるのかというのは調べさせていただきました。ちょっとその資料、手元にはないんですけど、やはり億単位でコストがかかるというところがありますので、現時点では立体駐車場については、なかなか難しいという判断をさせていただいております。

しかしながら、お話のとおり駐車場につきましても、確保というのは、1つ大きな課題となっておりますので、いろんな形で何とか確保できるようにいろいろ調べたり、検討したりしてまいりたいと考えております。

以上でございます。

○栗原恵子委員長 高橋委員。

○高橋まゆみ委員 せっかくですね、借地を減らしていっているところなので、これじゃ、また止められないから、民有地を借りるとするのは、結局は町民の方々の負担になるので、積み重ねていけば、かなりの金額になるのではないかと思うので、なるべく敷地内で工夫してできるようにするのが理想だと思います。お答え結構です。

以上です。

○栗原恵子委員長 ほかにご質問等ございますか。

青木委員。

○青木久男委員 概算工事費、取りまとめのところ例えば、出ました車の話で、車本体価格が決まるとその後、どんな色にするか、あるいはオプションはどんなものにするかという

のが、取りまとめということによろしいですか。

○栗原恵子委員長 総務課長。

○増田喜一総務課長 今の例が、本当に分かりやすい例でありありがとうございます。

おっしゃるとおりで、来年1年間かけて車の購入に例えれば、どんな広さの車とか、エンジンの大きさとか、カーナビをどうするというそういったものを詰めていくと、業者が見積書を作ってくれますけども、こちらの思っていた金額ならばいいんですけども、車に例えますと、思っていたより高くなることもあると思っておりますし、先ほど少し申し上げましたけども、建設コストの上昇というのも報道等で聞いておりますので、そういったことにもらみながらやはり、大切な税金を使わせていただきますので、CM業者の力も借りながら少しでもいいもの、車で例えますと、少しグレードは落ちるんだけど性能は同じなんだよとか、少し狭くなるんだけどいいナビゲーションが付いているんだよとか、そういうふうには何かを調整しながら進めたい、また一般事務の職員ですと適切な判断も難しいので、そこはアドバイザーに相談して、ご助言をいただきながら取り組んでまいりたいと思います。

以上でございます。

○栗原恵子委員長 青木委員。

○青木久男委員 そうしますと、私たちの議会の意見も反映できるような取りまとめというのも十分考えてもらっているんだと思うんですけども、そうすると、その取りまとめが3月末までにとこの理解でよろしいですか。

取りまとめが概算工事費ではなくて、確定するというのはいつになるのかをお願いします。

○栗原恵子委員長 総務課長。

○増田喜一総務課長 そうですね。今の概算経費は、単価の算出は埼玉県内で最近、庁舎を建てられた平米単価がございますので、その平均額に伊奈町が考えている面積を掛けた数字で数字を出させてもらっていますけども、お話のとおり基本設計が終わりますと、実際にどういうグレードでどういうものというのがある程度固まりますので、金額が出ます。目途としては出るんですけども、色をどうするかとか、最終的にどの部材にするかという実施設計がございますので、工事発注の設計金額が固まるのは実施設計の後というイメージになります。

以上です。

○栗原恵子委員長 青木委員。

○青木久男委員 概算工事費っていうのは本当にまだ、概算ってことなんですかね。それに取りまとめをして、オプションを付けてそのおおよその金額っていうのは、実施計画ですか。ま

た、先になっちゃうんですけども、それを待たないとわからないということなんですか。あの、設計額ですよ。工事費じゃないですよ。設計額には工事費も見積ってやるんでしょけどね。いつ頃確定するんですか。何億かって。

○栗原恵子委員長 総務課長。

○増田喜一総務課長 スケジュールといたしましては、令和4年度に基本設計を行いますので、年度末頃には、概算の工事費はおおむね出ると。それは、やはり車の購入に例えると、車の見積が出るという形かと思います。その後、令和5年度に実施設計を行いますので、ここでその基本設計に基づいて、具体的にどういう部材を使うだとか、そこが決まりますので、部材の単価がございまして設計金額としては固まるという。それを基に翌年度、入札等により業者が決まっていくような形になるかと思います。しかしながら、その先の進め方についてはこれから少し詰めたと思っています。

以上でございます。

○栗原恵子委員長 青木委員。

○青木久男委員 了解しました。

○栗原恵子委員長 ほかにありませんか。

五味副委員長。

○五味雅美副委員長 来年度、基本設計ということで、大きくランドデザインみたいなものができると思うんです。要は最終の工事設計の前段階といいますか、こういう様式にして造っていきますということで、先ほど出ましたCM手法、コンストラクションマネジメント、非常に重要な立場になると思うんです。建築側の立場とそれから施主側、こちらの立場と両方よく理解した人でないと建築側に寄り過ぎても駄目だし、建築のことを知らなくても困るし、という立場で重要なポジションだと思うんですね。こういう方を間に入れるというのは、確かに有意義なことだと思うんですけど、これについてはどのような機関を考えていますか。

○栗原恵子委員長 総務課長。

○増田喜一総務課長 伊奈町が考えております、CM手法の導入につきましては、国土交通省でも推奨している、取組のひとつとして上げているものなんですけど、少し資料が古いんですけども、平成29年の導入自治体数が、29年の数値で恐縮なんですけども、全国で43例ということで、あまり例がないということが正直なところでございますが、しかしながら調べていきますと、平成27年に東京都の府中市と清瀬市の庁舎建設事業でこの手法を導入したと伺っておりますし、平成28年香川県善通寺市の新庁舎建設でもCM手法を導入されたと伺ってお

ります。これから聞きに行きたいと思っているんですけど、埼玉県春日部市もどういう形で入れられたかというのはいろいろあるんですけど、取組をされたということを伺いましたので、どんな経緯でどんな取組で、どんなCM業者入れてどんなことがあったということは、良く調べて、近いところですので伺ってみたいとは考えておりますが、あまり例がないというのがあります。ただ、国土交通省の資料等を調べさせていただいて、発注先の選定というのは少し精査をしていきたいと思えます。

以上でございます。

○栗原恵子委員長 五味副委員長。

○五味雅美副委員長 決まってからという以前にその段階で、やはりこちらの立場をよく理解してもらおうというのが大事だと思うんで、その辺も慎重に、造る側としては、コストもあるだろうし、造りやすさもあるだろう、できあがったら使いづらかったとことにならないようにしていただきたいと思えます。

以上です。

○栗原恵子委員長 ほかにございませんか。

佐藤委員。

○佐藤弘一委員 桶川市の庁舎、私も見たことあるんですけど、天井低いんですね。一般の人が見ると天井がそのまんまっていう感じがするんです。ちゃんとふさいでいないというか、そういう造りらしいのですが、それがいいのか、コスト下げるのにやったと思うんですけど、今12月議会に一般質問で執行部に対して、使いづらい点とかはあるかと、なんかそういうことをという議論をやったと思うんですね。そういった関係で、やはり町民の方たちも使い方と執行部でも位置関係だとかあるんだと思うんですね。造ったら、先ほどの副委員長が言ったのように、それでやるしかないんですけど、それを聞き入れながら、下見しながら、調査しながら、こういう点はこうしたほうが良かったよとかそういうのも聞いて取り入れてもらえば、やってるかどうかわかんないんですけど、お願いしたいと思えます。

○栗原恵子委員長 総務課長。

○増田喜一総務課長 桶川市の担当者に伺いましたら、庁舎を造られてからずっと担当している、維持管理も携わっていらっしゃると伺っておりましたので、足を運んで、使いづらさだとか職員の声だとかそういったものも、少し確かに動線としては、駐車場から入ったんですけども、ちょっと分かりづらいついていうのは、確かに印象としてありました。その点を伺いましたら、桶川市は土地が決まってしまって、容積率、大きさも決まったので、いろんな工

夫した結果があれなんだというようなお話をいただきましたけど、伊奈町は伊奈町で事情や状況がございますので、そこをしっかりと踏まえて進めてまいりたいと思います。

以上でございます。

○栗原恵子委員長 ほかにございませんか。

[発言する人なし]

○栗原恵子委員長 なければ、次に、次回の委員会の開催について協議したいと思います。

今後の予定として、先ほど少し執行部からもご説明がございましたが、執行部側はどのようにお考えでしょうか。また、いつぐらいになりますか。

企画総務統括監。

○藤倉修一企画総務統括監 原則といたしましては、議会の開催ごと、開会日の後というところで、まず原則を委員会の開催日とさせていただきまして、状況に応じて、もう少し間に開催のほうをお願いしたいというところ、議会の開催日程どおり予定が進むか分からないということもございますので、少なくとも議会開催ごとに開催をお願いして、意見を調整しながら進めさせていただくという方向ではいかがでしょうか。

○栗原恵子委員長 ただいまの執行部の報告を鑑み、次回の開催は、町の進捗状況によっては開会前に開催しますが、遅くとも6月定例会の会期中までに開催することよろしいでしょうか。

[「はい」という人あり]

○栗原恵子委員長 発言がございませんので、会期中、散会后までにすることいたします。

ほかに、皆様方からなにかございますか。

[発言する人なし]

○栗原恵子委員長 ないようですので、以上で本日予定されていた内容は全て終了しました。

閉会の前に副委員長よりご挨拶をお願いします。

○五味雅美副委員長 土地のほうは、まず取得が終わって、土地の調査もほぼ、手がついて、条件が整ってきたということで来年度、先ほどお話が出ましたけど、大きなデザインを取り組んでいく非常に重要な年になると思いますので、引き続きお願いしたいと思います。今日は大変お疲れ様でした。

○栗原恵子委員長 これをもって閉会といたします。

お疲れさまでした。

閉会 午後 5時10分